



平成 27 年 6 月 12 日
自動車局技術政策課

自動操舵の国際基準策定の専門家会議を日本で開催します

自動車の自動運転技術については、交通事故の大幅な削減、渋滞の緩和、高齢者等の移動支援など様々な効果が期待されています。このため、我が国メーカーを含む世界の自動車メーカーや部品メーカーが、その開発・実用化に取り組んでいるところです。

自動運転技術のうち、アダプティブクルーズコントロール（ACC）や衝突被害軽減ブレーキなどの進行方向の自動制御については、多くの技術が実用化されている一方、自動レーンチェンジや自動追い越しなど自動でハンドルを操作する「自動操舵技術」については、現在、数年以内の実用化を目指して、世界各国において技術開発が進められているところです。

このような状況を踏まえ、本年 4 月、自動車の国際基準を策定する「国連の自動車基準調和世界フォーラム」（WP29）の傘下に「自動操舵専門家会議」が設置され、自動操舵の国際基準策定の議論が開始されました。日本はドイツとともに本専門家会議の共同議長を務め、その議論を主導しています。

今般、下記の通り、専門家会議の第 2 回会合を東京にて開催します。

記

1. 日時

平成 27 年 6 月 16 日（火）9:00 ～ 17 日（水）16:00

2. 場所

自動車基準認証国際化研究センター/JASIC

東京都新宿区四谷三丁目 2-5 全日本トラック総合会館 7 階

3. 出席予定者

共同議長：日本、ドイツ

政府・団体：英国、欧州委員会（EC）、スウェーデン、デンマーク、韓国、オランダ、フランスなど各国政府、OICA（国際自動車工業連合会）、CLEPA（欧州部品工業会）など産業界。

4. 主な議題

○ 目的に応じた自動操舵技術の分類

○ 自動操舵技術が使用可能な条件

○ 自動操舵技術における人と機械の役割分担 など

※ 専門家会議は、自動車メーカー等の技術開発に係る事項も含むことから非公開とします。カメラ撮りは、会議の冒頭（議事に入るまで）のみ可能です。

※ 議事要旨については、後日、国土交通省ホームページに掲載致します。

問い合わせ先 国土交通省 自動車局 技術政策課 久保田、村井、山村
電話：(03) 5253-8111(内線 42254)
直通：(03) 5253-8591 FAX：(03) 5253-1639